

# 平成 25 年度猪名川町立中学校 生活行動・学習活動調査の結果

## 【調査の趣旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。日常の生活実態をアンケート調査して、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるように、普段の生活を見直すよう調査しました。

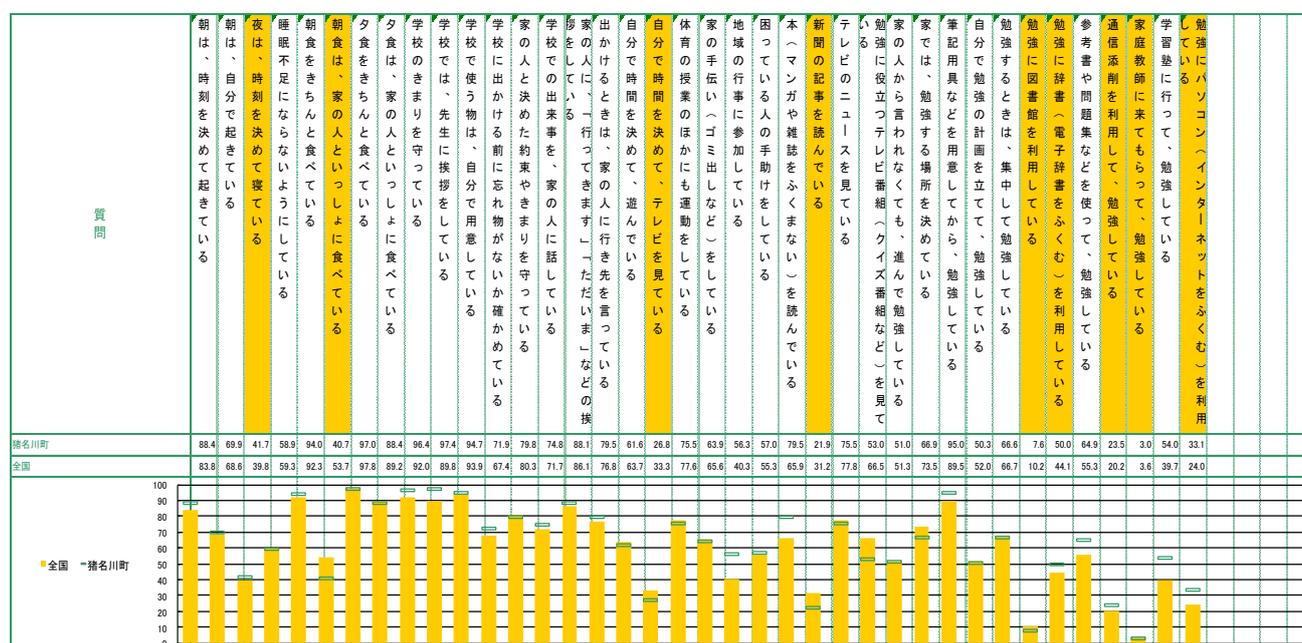
## ■日常生活における基本質問の全国比較

【標準学力調査対応】  
生活行動・学習活動調査

中学校2年  
生活行動

学年・基本質問回答傾向

猪名川町教育委員会  
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。  
 ※「生活行動」の「学年・基本質問回答傾向」では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が90%以下の質問に網をかけた。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。  
 ※網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「生活指導」の参考にして下さい。

○町内の中学校2年生の生徒の日常生活は、概ね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準にあり、普段の生活に乱れは見られません。80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは、下記の項目です。

- ・「朝は時刻を決めて起きている」=88.4% 全国比から4.9ポイント高い。
- ・「朝食、夕食をきちんと食べている」=94.0%(朝食)、97.0%(夕食)
- ・「学校のきまりを守っている」=96.4% 先生に挨拶している=97.4 \* 全国比よりかなり高く良好。
- ・「学校で使うものは自分で用意している」=94.7%
- ・「家の人に『行ってきます』『ただいま』などの挨拶をしている」=88.1% \* 昨年より3ポイント良化。
- ・「筆記用具など用意してから勉強している」=95.0% \* 漫然とした態度ではなく、勉強の心構えがある。
- ・「勉強に辞書を利用している」=参考書や問題集の活用は、肯定率6割弱ながら全国比から+10%等々

○肯定率が低く、また全国的な比率から見て改善すべき項目もあります。

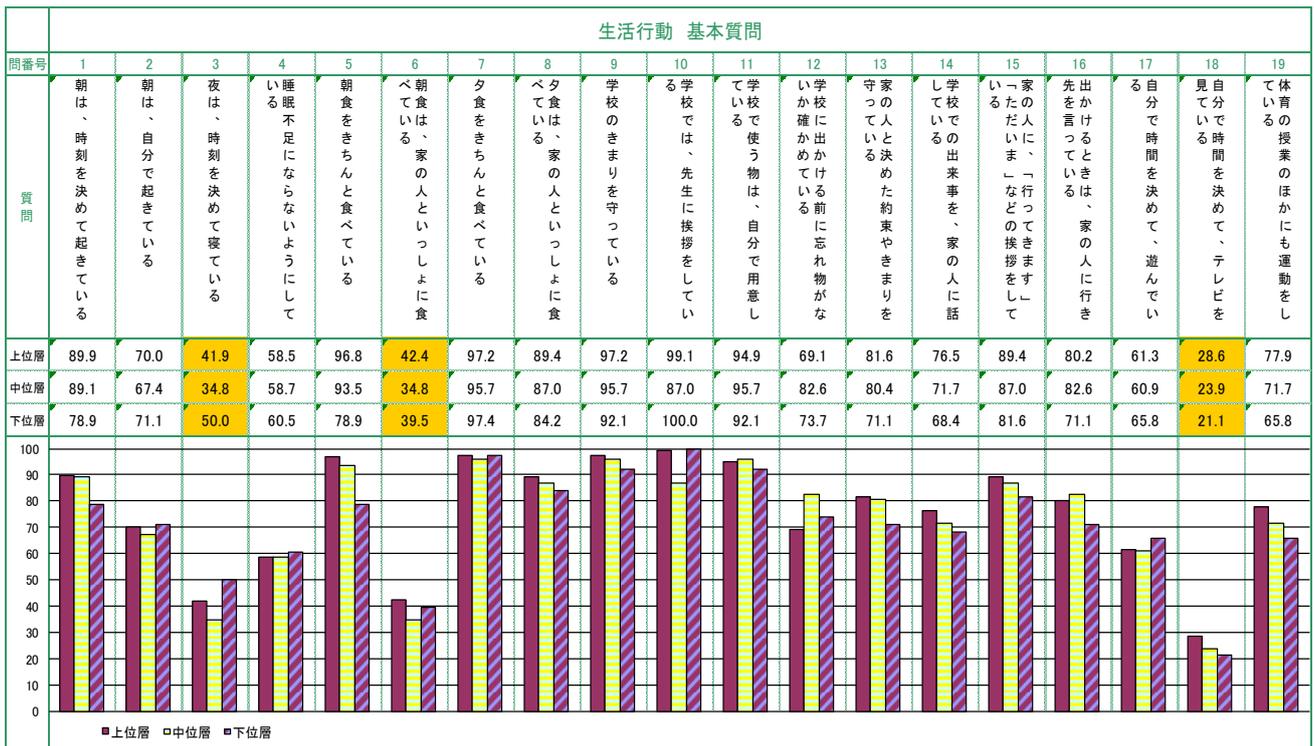
- ・「夜は時刻を決めて寝ている」=41.7% \* 昨年の 38.5%からは改善されてきた。
- ・「自分で時間を決めて、テレビを見ている」=26. % \* だらだらとテレビを見ていて毎年改善されず。
- ・「新聞の記事を読んでいる」=21.9% \* 昨年 27.6%で-5.7ポイント 全国 31.2%-9.3ポイント
- ・「家の人から言われなくても、進んで勉強している」=51.0% \* 昨年 38.8%から大きく改善された。

☆学校での出来事を家の人に話したり、行き先を家の人にきちんと行って出かけるなど、全国比から見ても、家族関係はかなり良好である。また、普段の家庭での生活態度や学校での過ごし方も規律ある行動ができており、喜ばしい状況にある。

### ■生活行動と学力調査のクロス分析

○生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い生徒ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。肯定者の正答率と否定者の正答率の比較から、バラツキはあるが概して肯定率の高い生徒の正答率が高いです。この視点を基に調査結果を見てください。

【標準学力調査対応】 中学校2年 学年・基本質問3階層回答傾向 猪名川町教育委員会 第2学年  
生活行動・学習活動調査 生活行動



○学力調査での上位層と下位層の差が10%以上の質問項目は、下記のようになりました。

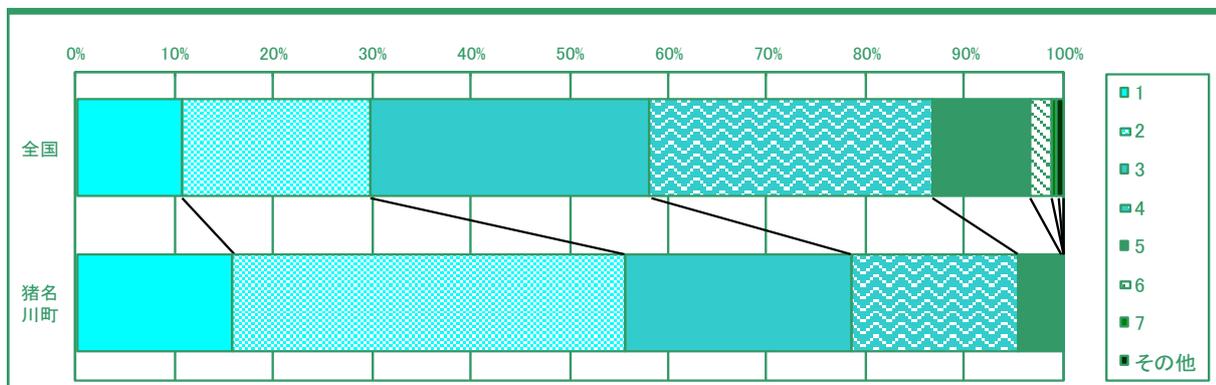
- ・「朝は時刻を決めて起きている」=上位層の生徒は 89.9%の生徒が肯定し、10ポイント下位層より高い。
- ・「朝食をきちんと食べている」=学力上位層は 96.8%が肯定し、食べない生徒より 17.9ポイント高い。
- ・「体育の授業の他にも運動している」=上位層は 77.9%肯定し、12.1ポイント下位層より高い。

☆ほとんどの質問項目に大きな乖離は無かった。猪名川町内の生徒の日常生活は、学力に関係なくきちんとした規律ある生活が営まれているのがうかがえる。学校のきまりをきちんと守っている、先生に挨拶をしている、学校で使うものは自分で用意している、学校での出来事を家の人に話している等の項目は、概して学力上位層の方が実行できているのが全国的傾向だが、猪名川町では見られなかった。

## ■ 発展質問回答状況

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

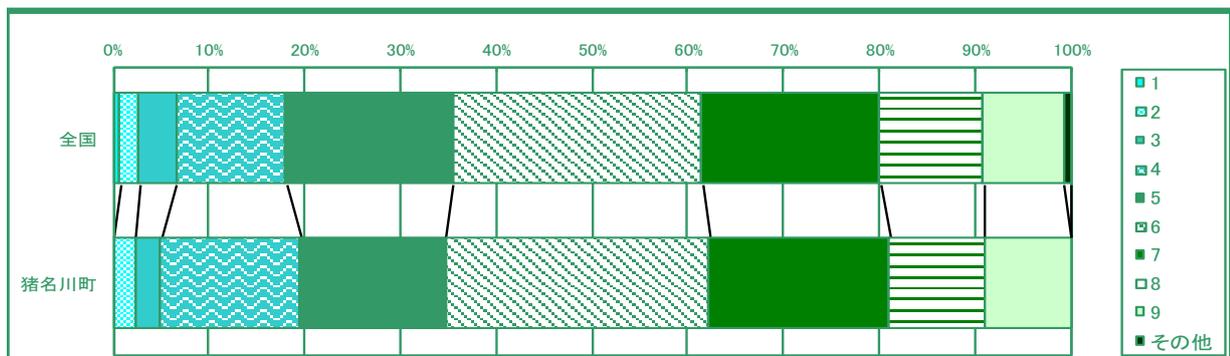
	1 午前6時より 前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より 後	その他
全国	10.7	19.1	28.3	28.5	9.9	2.3	0.6	0.6
猪名川町	15.9	39.7	22.8	16.9	4.3	0.3	0.0	0.0



○ほとんどの生徒(95%)が7時までに起床し、6時頃が4割存在する。全国平均より少し早目である。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

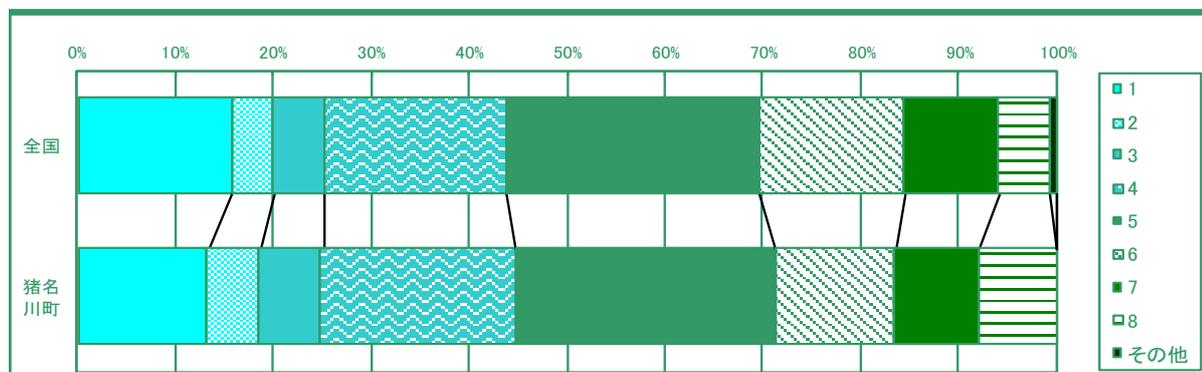
	1 午後9時より 前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30 分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より 後	その他
全国	0.6	2.0	3.9	11.4	17.5	26.1	18.5	10.8	8.5	0.7
猪名川町	0.0	2.3	2.6	14.6	15.2	27.5	18.9	9.9	8.9	0.0



○11時～11時半ごろに就寝する生徒が46.4%と一番多い。11時半ごろまでには、ほとんどの生徒が寝る習慣になっていて、良好な状況にある。昨年は10時半～11時が多かったが少し遅くなって、全国的な傾向と同じになった。

学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
全国	15.7	4.3	5.2	18.5	25.9	14.8	9.7	5.1	0.8
猪名川町	13.2	5.3	6.3	19.9	26.5	12.3	8.6	7.9	0.0



○1時間くらい家で勉強する生徒が、26.5%で全国比とほぼ同じである。昨年は30分以内が半数であったが、かなり改善されてきた。昨年はほとんどしない生徒が18.8%もいたが、13.2%と減少し良化した。

学校が好きである

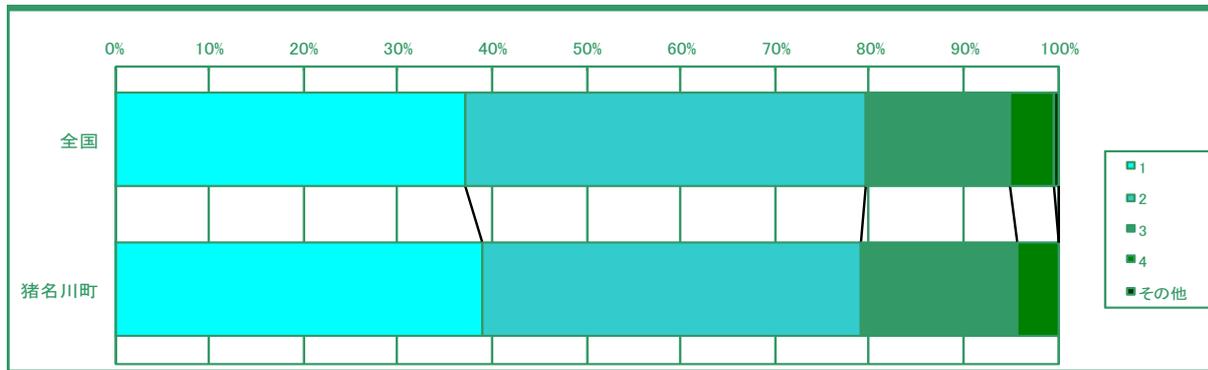
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	32.1	47.4	14.7	5.5	0.3
猪名川町	24.8	46.4	22.2	6.6	0.0



○「学校が好き」と答えた生徒がほとんどだが、昨年より減少した。(83.5%⇒68.6%) 全国的には8割弱が肯定的に答えており、猪名川町では-8.3ポイントであった。昨年と逆になり少し心配である。「学校が嫌い」と答えた生徒が28.8%にのぼっている。昨年は16.4%で-12.4ポイントとなった。

自分が住んでいる地域が好きである

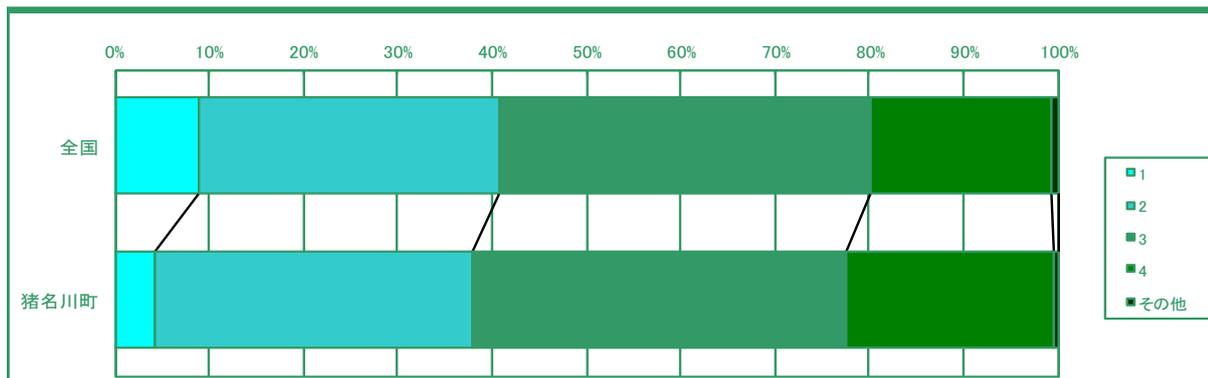
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他
全国	37.1	42.7	15.1	4.7	0.4
猪名川町	39.1	40.1	16.6	4.3	0.0



○猪名川町を好きと答えている生徒が、79.2%とほぼ全員である。全国的傾向と同じで、地域全体で子どもたちを育てている環境が思い浮かばれて、非常に喜ばしい状況にある。積極的肯定「猪名川町が非常に好き」が39.1% (昨年は48.7%) で郷土愛は全国比から見て高い。

自分のことが好きである

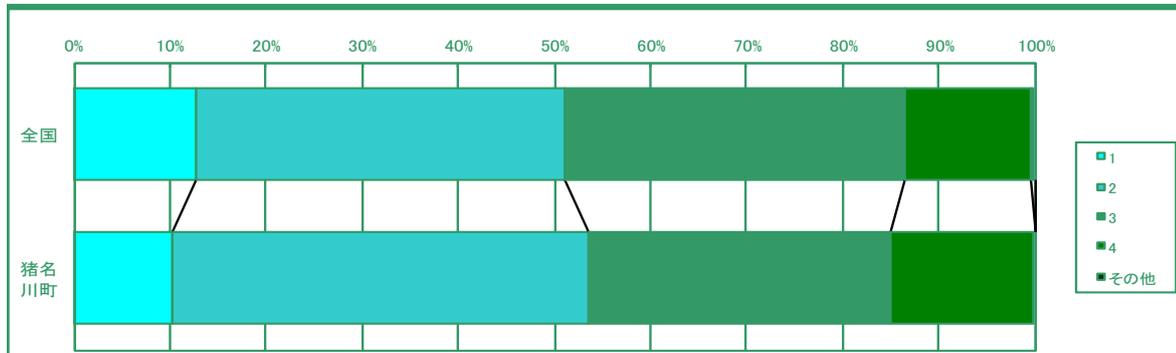
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他
全国	9.0	31.7	39.6	19.1	0.6
猪名川町	4.3	33.8	39.4	22.2	0.3



○自分の事を好きと思っている生徒は38.1% (昨年44.1%) で、全国平均である。自分を肯定的に捉えていた傾向が減少したのは気掛かりである。自分の事を嫌いとする否定的な生徒が22.2%と多い。コンプレックスからの解放を考慮する必要がある。

自分には、良いところがあると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	12.9	38.3	35.2	13.2	0.4
猪名川町	10.3	43.4	31.5	14.9	0.0



○「自分には良いところがある」と答えた生徒が53.7%と、全国比から見て2.5ポイント自己肯定率が高い。「自分のことを好き」の回答状況と同様に、自分を肯定的に捉えることは良い傾向である。

自分は、友だちから認められていると思う

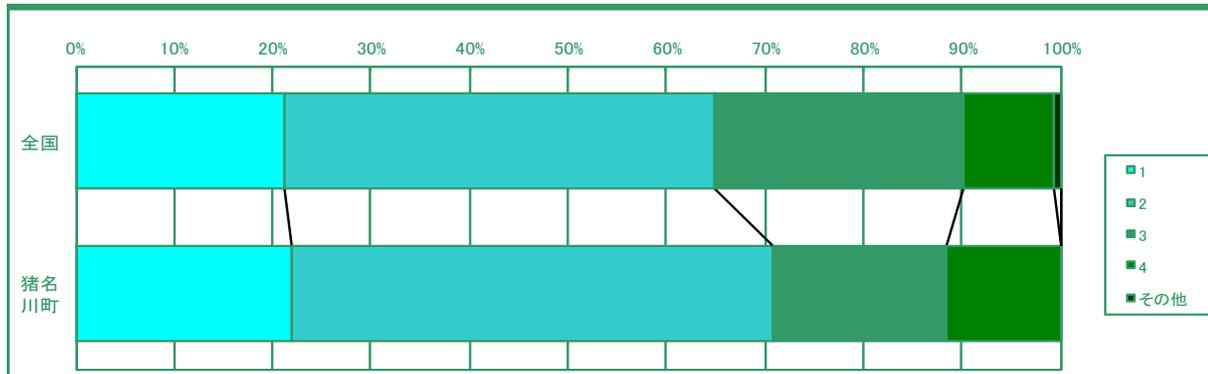
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	9.6	47.1	33.2	9.6	0.5
猪名川町	5.3	52.6	31.1	10.6	0.3



○友だちから認められる自己認識は、57.9%で全国比と同じである。一昨年から6割近い生徒が「認められている」と感じており、良化している。学級経営上も「認め」「認められる」関係は大切で、学級適応力は良好である。

自分は、家の人から認められていると思う

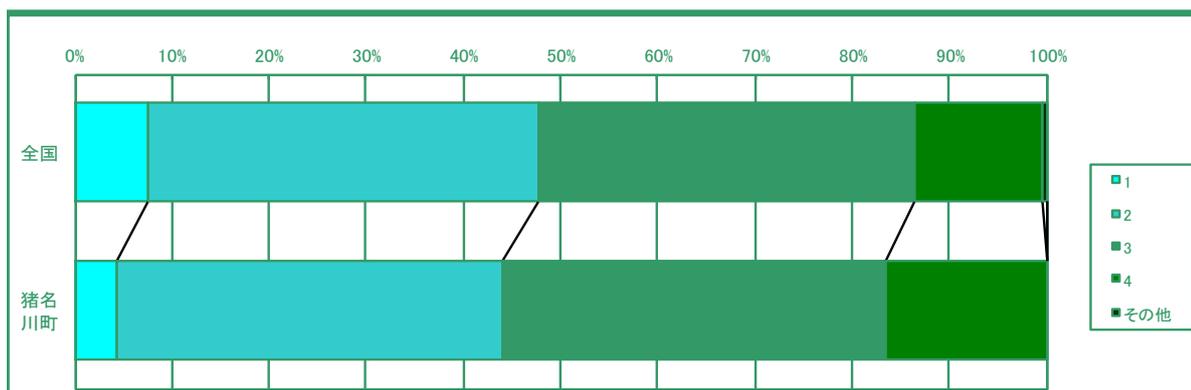
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	21.3	43.6	25.3	9.3	0.5
猪名川町	21.9	49.0	17.5	11.6	0.0



○肯定率が70.9%、66.4%で、全国比から6.0ポイント高い。多くの生徒は、家庭での存在を大きく感じしており、良好な状況にある。

自分は、先生から認められていると思う

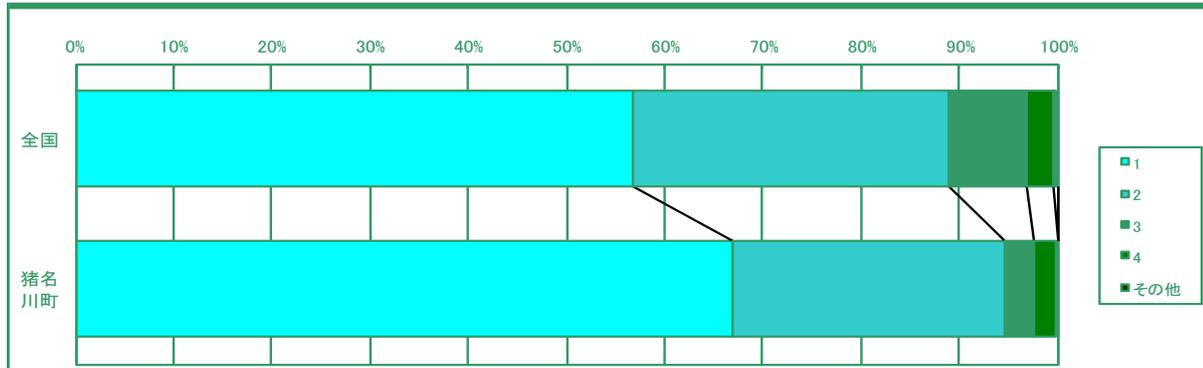
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	7.6	40.2	38.6	13.1	0.5
猪名川町	4.3	39.7	39.4	16.6	0.0



○先生から認められていると肯定的に回答しているのは44.0%で、全国的な傾向より少ない状況にある。小学校5年生は、8割以上が先生から認められていると肯定しているのに対し半減するが、全国的な傾向である。しかし、16.6%(昨年15.1%)の生徒が、「認められていない」と感じており、全国比から見ると多いのは気掛かりである。

### 自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

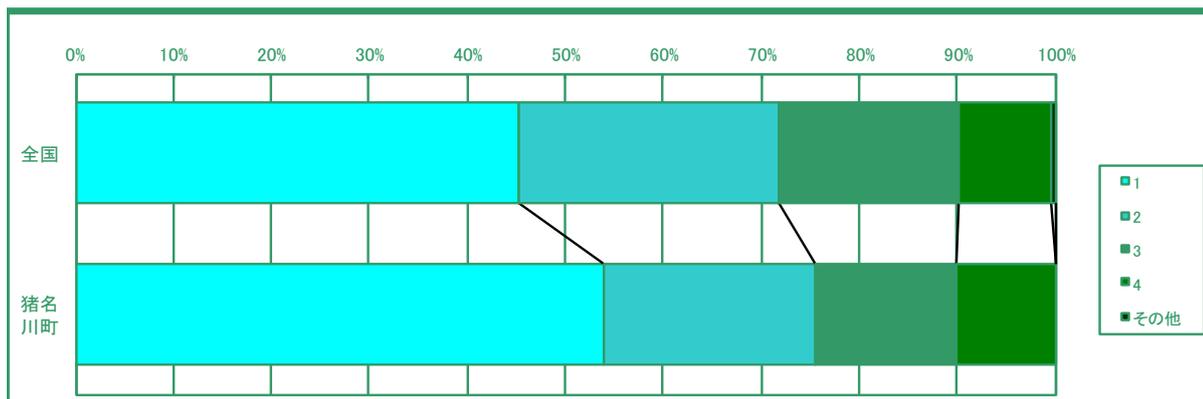
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	56.8	32.1	8.0	2.7	0.4
猪名川町	66.9	27.8	3.0	2.3	0.0



○ほとんどの生徒(94.7%)が、自分の力をできる限り伸ばしたいと、向上心が高く非常に良好な状況にある。

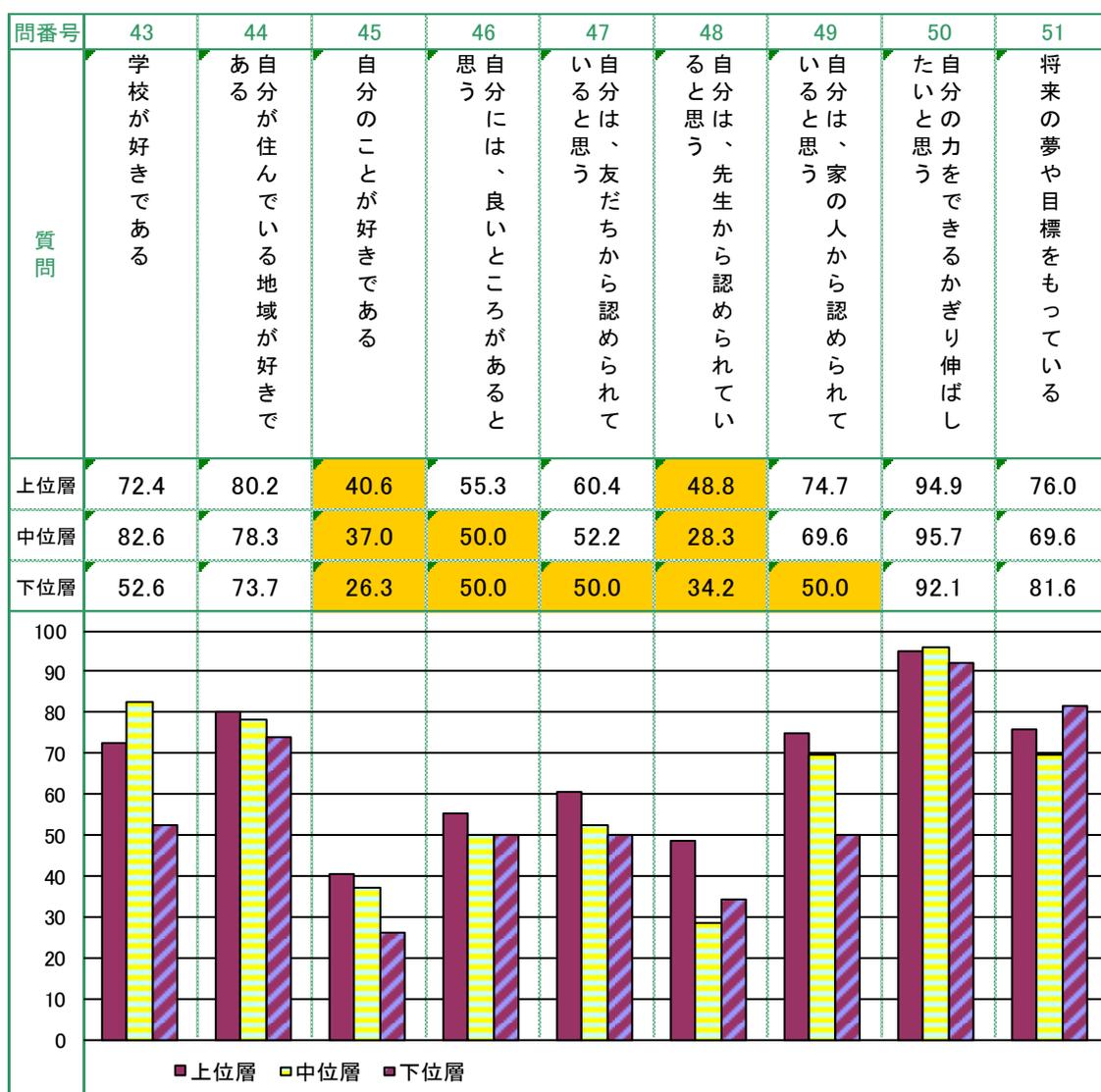
### 将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	45.4	26.3	18.4	9.6	0.3
猪名川町	54.0	21.5	14.6	9.9	0.0



○ほとんどの生徒(75.5%)が「将来の夢や目標をもっている」と回答し、生き生きとした姿が想定される。はっきりとした夢や目標をもっている生徒が、全国比からみて8.6%も多く、良好な状況にある。

## ■発展質問回答状況とクロス集計



○上表は自己肯定力や郷土愛など、生活習慣等基本質問以外の質問と学力相関クロス集計である。上位層の生徒が肯定的に回答しており、下位層の生徒と比して肯定率が高いことがわかる。

- ・上位層の生徒の方が、「学校が好き」と肯定的に回答したのが19.8ポイント高かった。
- ・上位層では先生から認められていると48.8%の生徒が感じており、下位層と14.6%開きがある。
- ・上位層では家の人から認められていると7割以上の生徒が感じており、下位層と24.7%開きがある。
- ・「自分の事が好き」と答えた上位層下位層の差は14.3%であった。
- ・猪名川町が好きと、上位・中位・下位層のほとんどが肯定的で、地域環境が良好である。

☆上位層下位層の区別なくほとんどすべての生徒が、向上心や将来の目標をもっている。明るく希望に満ちた学校生活を送るべく「認め」「認められる」関係をもって、自己有用感のある学級環境をつくっていききたい。

# ■学習活動調査（国語・数学・英語）

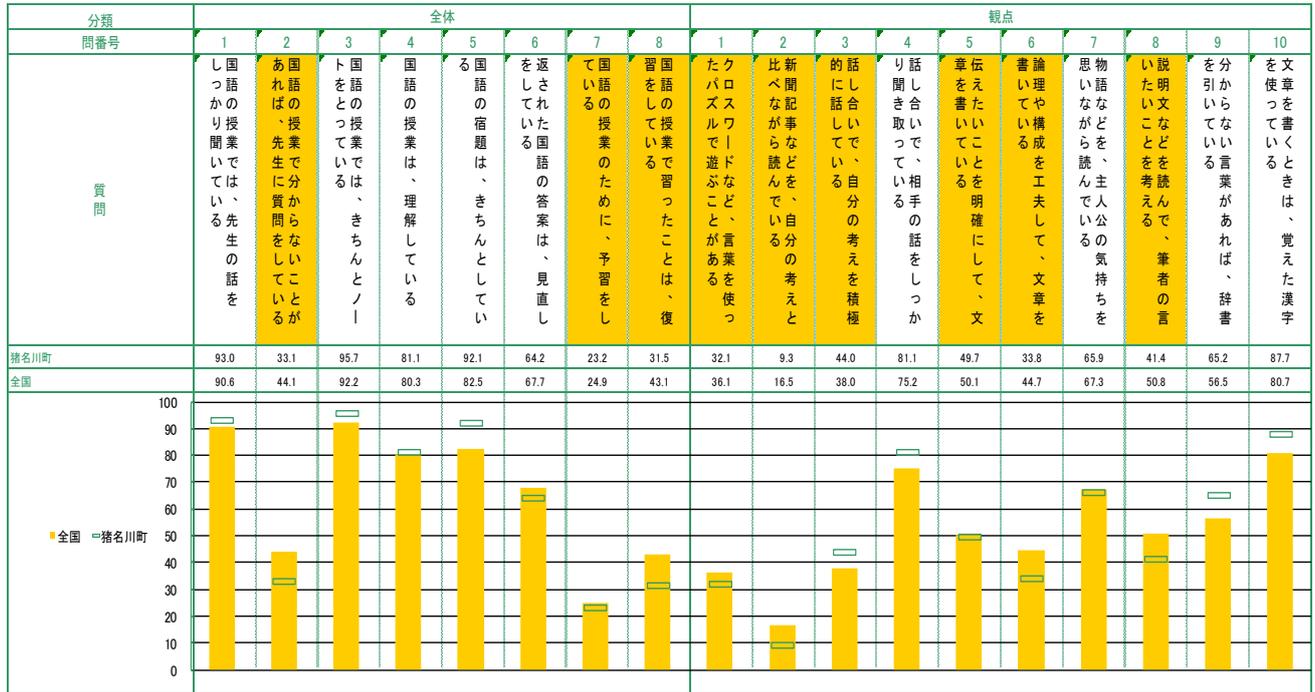
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年  
学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会  
第2学年



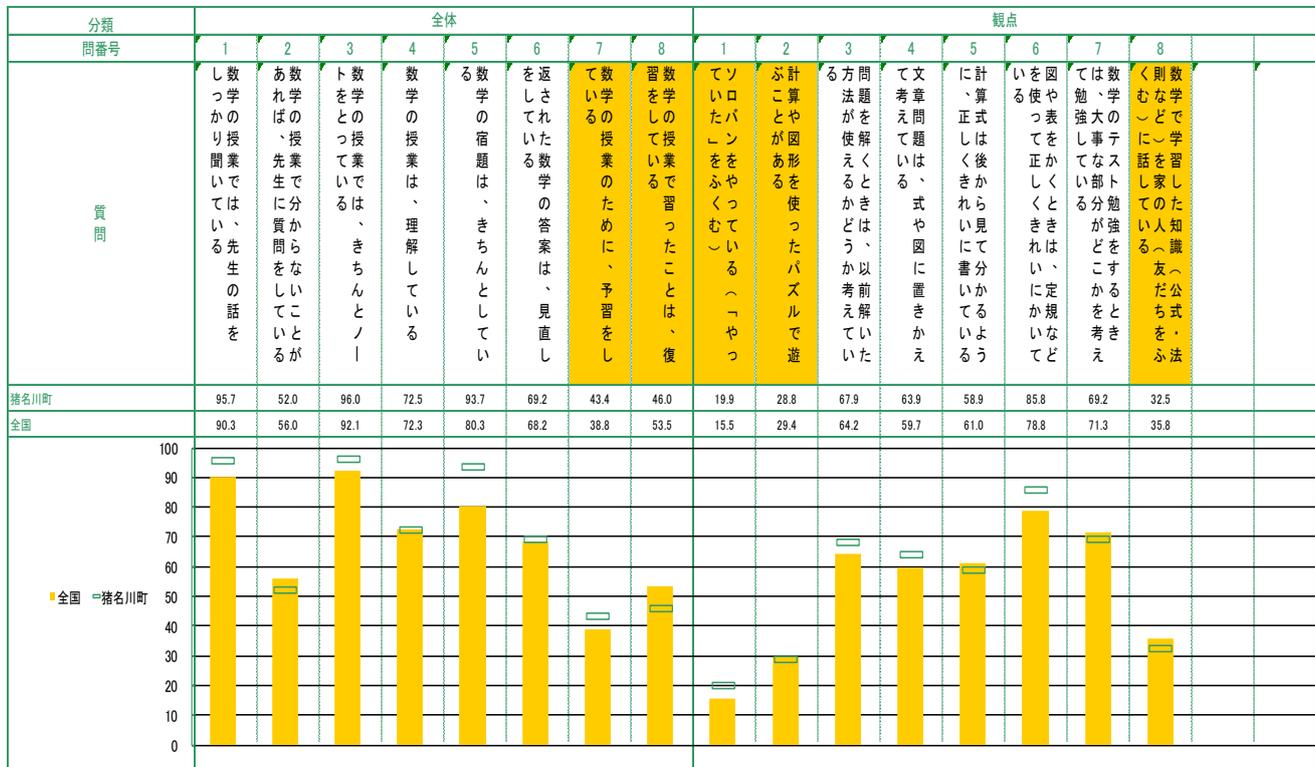
【標準学力調査対応】

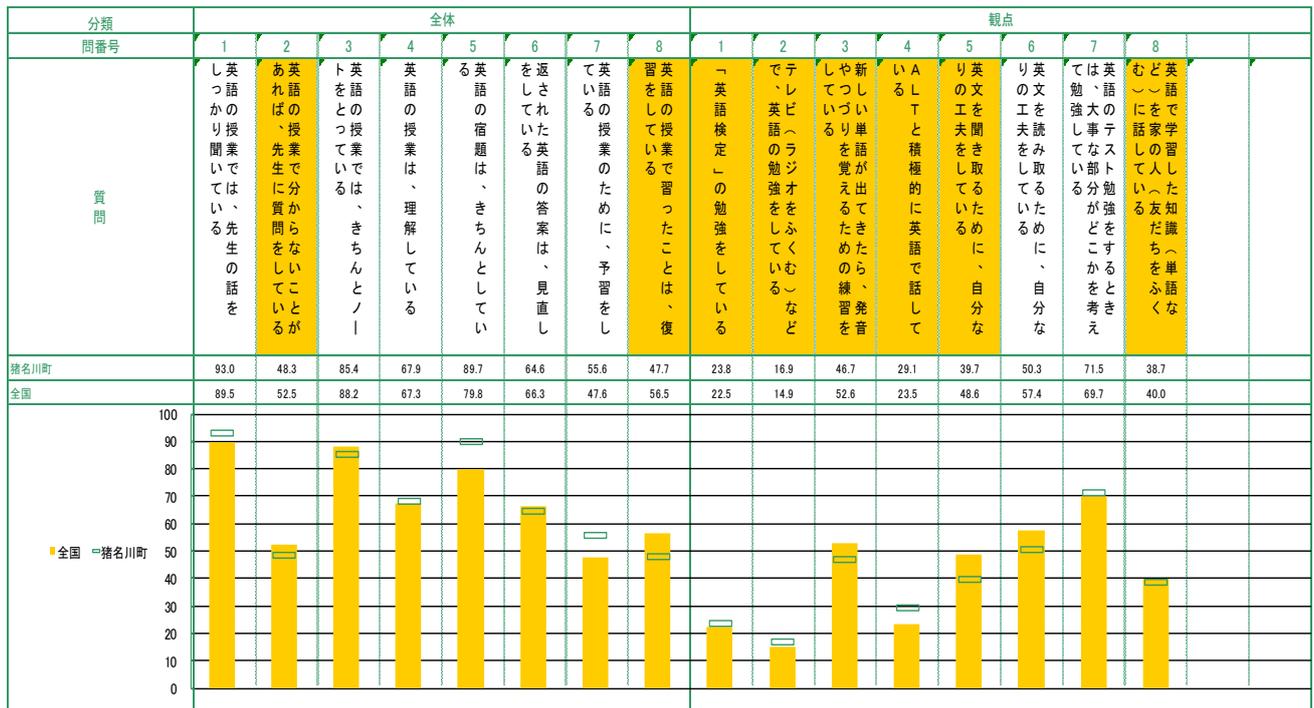
生活行動・学習活動調査

中学校2年  
学習活動(数学)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会  
第2学年





- 国語・数学・英語ともに学習活動状況は、全国比からも格段に良好である。授業態度で「国語・数学・英語の授業で先生の話をしっかり聞いている」の回答は、全教科ともに90%以上で全国値よりも10%以上肯定的で、静かに落ち着いた授業風景が目につく。また全教科、「授業ではきちんとノートをとっている」のも同様で90%以上ほとんどの生徒が行っており良好である。
- 「宿題はきちんとしている」も同様に、90%以上ほとんどの生徒がきちんとしていると肯定している。全国値よりも10%高い肯定率である。
- 授業を理解しているのは、国語81.1%、数学72.5%、英語67.9%で全国値と変わらない。昨年は、英語では80%でほとんどの生徒が理解できていたが、今年は10%ダウンしている。
- 授業でわからないところがあれば先生に質問している生徒の割合は、数学・英語が50%強で全国値より少し低い。国語は33.1%で全国比から11.0%も低い。もう少し学習への積極的な参加があると良い。
- 国語・数学・英語ともに予習復習をしていると肯定的に回答した児童が少なく、50%以下になっている。全国値から見てもかなり低く、改善すべき点である。

# ■学習活動調査クロス集計（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

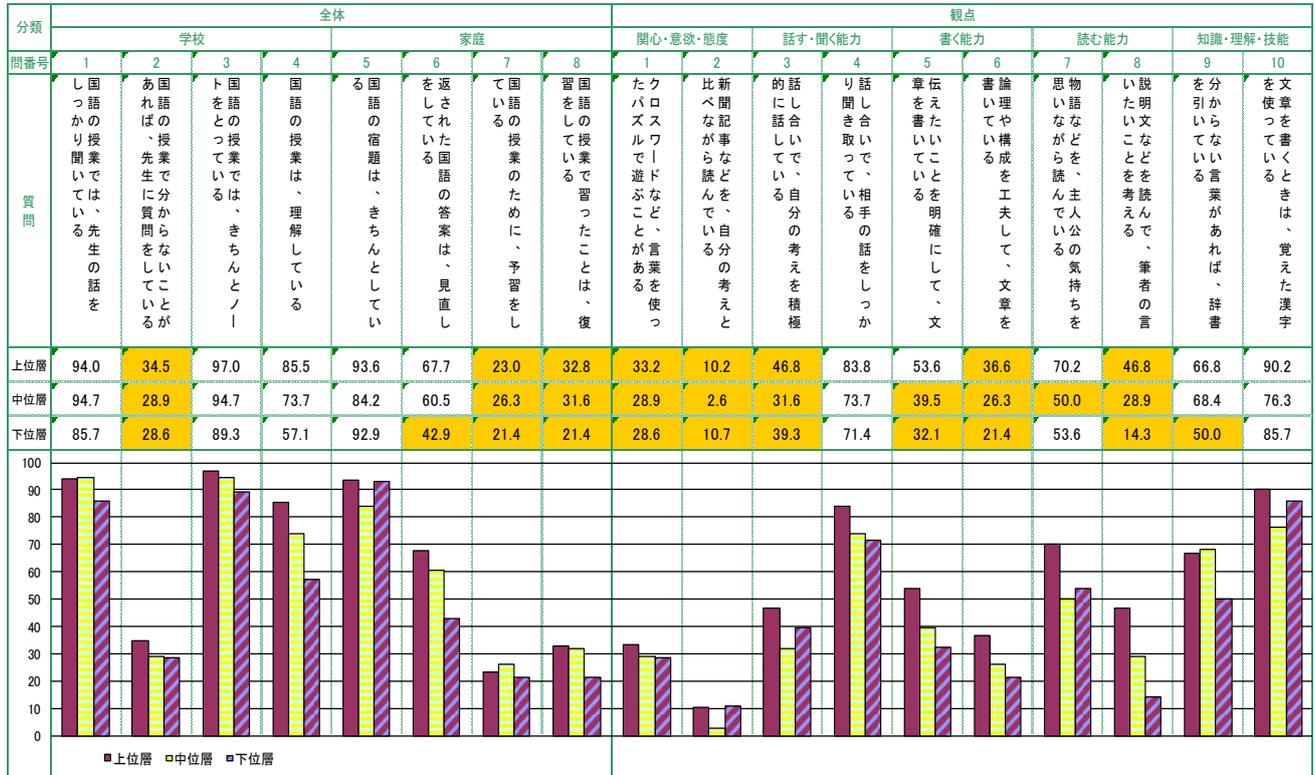
中学校2年

学習活動(国語)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

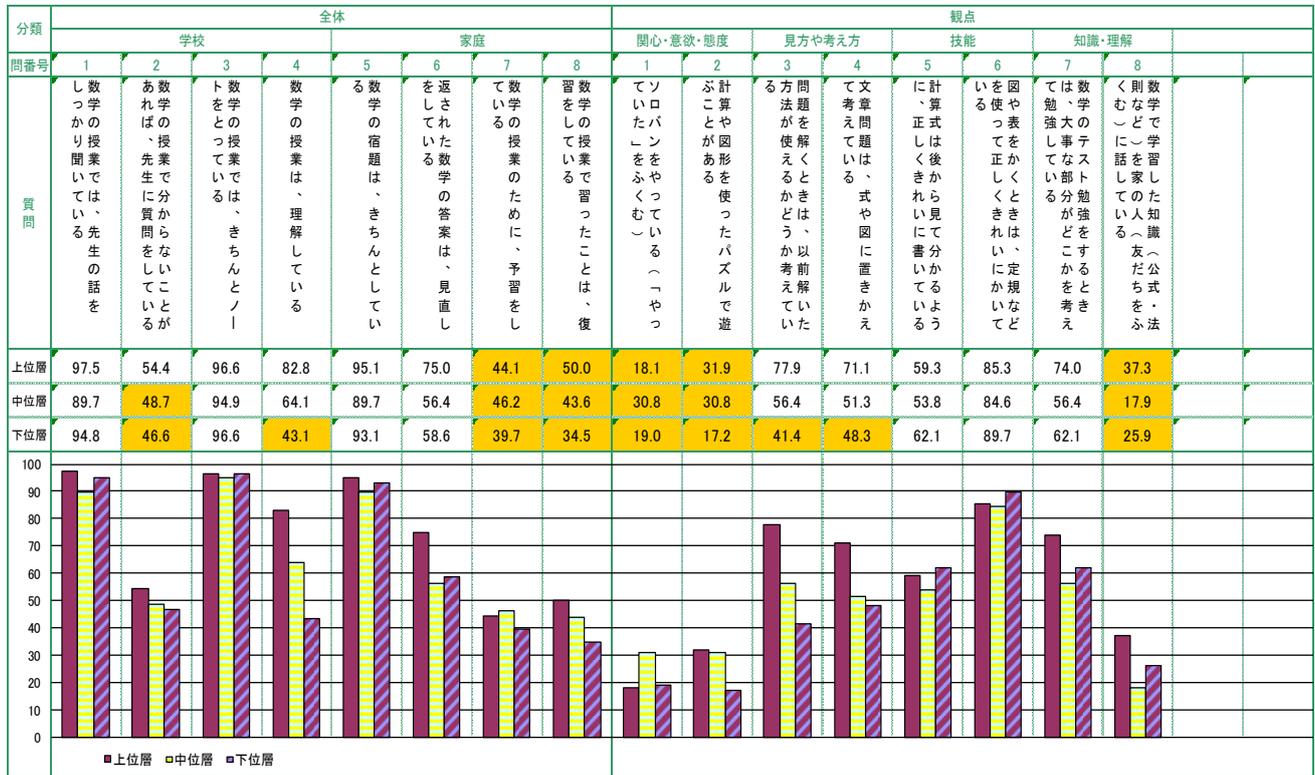
中学校2年

学習活動(数学)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



分類	全体								観点								
	学校				家庭				関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		知識・理解		
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	
質問	し英語の授業では、先生の話を	あ英語の授業で分からないことが	ト英語の授業では、きちんとノ	英語の授業は、理解している	る英語の宿題は、きちんとしてい	を返された英語の答えは、見直し	て英語の授業のために、予習をし	習英語の授業で習ったことは、復	「英語検定」の勉強をしている	で、英語(ラジオ)をふくむなど	新しい単語が出てきたら、発音	いる A L T と積極的に英語で話して	り英文の工夫をしているために、自分な	り英文を読み取るために、自分な	は、大事なものな部分がどこかを考え	む)に話している(友達に話をふく	英語で学習した知識(単語)を
上位層	95.5	51.0	87.4	82.8	92.9	71.7	61.1	54.5	32.8	18.7	52.0	31.8	42.9	60.1	77.8	45.5	
中位層	92.5	42.5	85.0	47.5	92.5	55.0	47.5	45.0	10.0	20.0	45.0	30.0	35.0	27.5	72.5	32.5	
下位層	87.3	44.4	81.0	34.9	79.4	49.2	44.4	28.6	4.8	9.5	31.7	20.6	33.3	34.9	52.4	22.2	

○国語の学習活動で 15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・書く能力で格差が見える。伝えたいことを明確に、論理や構成に工夫して文章を書く。
- ・読む能力に差がある。物語文で主人公の気持ちを読み取り、説明文で筆者の言いたいことを考える。
- ・知識・理解・技能の観点では、辞書を活用すること。

○数学の学習活動で 15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・数学的な見方や考え方に格差がある。問題を解くときは、以前解いた方法が使えるか考えること。
- ・文章問題は、式や図に置きかえて考えている。

○英語の学習活動で 15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・表現の能力での観点で、新しい単語が出てきたら発音やつづりを覚える練習をしている。
- ・理解の能力での観点で、英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている。
- ・英語で学習した単語などの知識を、家の人や友達に話している。

☆国語・数学・英語ともに上位層も下位層もすべての生徒が、「先生の話はしっかり聞いている」「ノートはきちんととっている」と肯定しており、静かに落ち着いた授業態度が読み取れる。

しかし、「授業を理解しているか」では格差が見られる。下位層では授業を理解していると答えた生徒と上位層との差は、国語=28.4ポイント 数学=39.7ポイント 英語=47.9ポイントである。授業は静かに受けているが、下位層では理解していない生徒も多くいる。下位層でもわかる授業の工夫が待たれる。

☆返された答案の見直しも上位層と下位層では格差がある。国語=24.8ポイント 数学=16.4ポイント 英語=26.5ポイントの差がある。また、授業で習ったことを復習していると肯定した生徒は上位層が多い。